



建設業 ふれあい事業

釜石支部

県建設業協会釜石支部青年部（岩間公人会長）による07年度建設業ふれあい事業

釜石支部の建設業ふれあい事業は、07年度建設業ふれあい事業として、9月30日、釜石市新町の双葉小学校（岩間三輝校長）で開かれた。事業には同校の児童約50人や父母らも参加。秋晴の下、生徒らは重機の試乗や、木工製作の体験を笑顔で楽しんでいた。

当日は青年部の会員15人と、女性マネジングスタッフ協議会釜石支部の会員7人が参加した。岩間会長は、試乗時の注意事項などを説明、「スタッフの指示を聞いて、事業を楽しんでください」と語った。事業では、高所作業車とバックホウの試乗

をした。はじめにPTA会長の佐々木正恵さんが「建設機械の試乗などは貴重なので、良い体験にしてほしい」とあいさつ。岩間校長は「機械がどのような仕事をするか、実際に動かして、しっかりと学んでください」と話した。

岩間会長は、試乗時の注意事項などを説明、「スタッフの指示を聞いて、事業を楽しんでください」と語った。事業では、高所作業車とバックホウの試乗をした。はじめにPTA会長の佐々木正恵さんが「建設機械の試乗などは貴重なので、良い体験にしてほしい」とあいさつ。岩間校長は「機械がどのような仕事をするか、実際に動かして、しっかりと学んでください」と話した。

岩間会長は、試乗時の注意事項などを説明、「スタッフの指示を聞いて、事業を楽しんでください」と語った。事業では、高所作業車とバックホウの試乗をした。はじめにPTA会長の佐々木正恵さんが「建設機械の試乗などは貴重なので、良い体験にしてほしい」とあいさつ。岩間校長は「機械がどのような仕事をするか、実際に動かして、しっかりと学んでください」と話した。

岩間会長は、試乗時の注意事項などを説明、「スタッフの指示を聞いて、事業を楽しんでください」と語った。事業では、高所作業車とバックホウの試乗をした。はじめにPTA会長の佐々木正恵さんが「建設機械の試乗などは貴重なので、良い体験にしてほしい」とあいさつ。岩間校長は「機械がどのような仕事をするか、実際に動かして、しっかりと学んでください」と話した。

岩間会長は、試乗時の注意事項などを説明、「スタッフの指示を聞いて、事業を楽しんでください」と語った。事業では、高所作業車とバックホウの試乗をした。はじめにPTA会長の佐々木正恵さんが「建設機械の試乗などは貴重なので、良い体験にしてほしい」とあいさつ。岩間校長は「機械がどのような仕事をするか、実際に動かして、しっかりと学んでください」と話した。

岩間会長は、試乗時の注意事項などを説明、「スタッフの指示を聞いて、事業を楽しんでください」と語った。事業では、高所作業車とバックホウの試乗をした。はじめにPTA会長の佐々木正恵さんが「建設機械の試乗などは貴重なので、良い体験にしてほしい」とあいさつ。岩間校長は「機械がどのような仕事をするか、実際に動かして、しっかりと学んでください」と話した。

のほかに、木工作業として、巣箱などの製作体験を実施。バックホウの試乗では、会員から操作の仕方を見せてもらいながら、慎重にレバーを動かす男の子や、高所作業車の試乗では、児童が上から眺望に歓声を上げながら、校庭の母親に元氣いっぱい手を振る姿が見られた。木工作業では、会員が押さえる板を、女の子が「結構きつい」と言いながら、懸命にのこぎりをひく場面も。子どもたちは巣箱などが出来上がるの親元に駆け寄り、得意げに見せていた。

県建設業協会釜石支部青年部（岩間公人会長）は「建設業ふれあい事業」

木工、重機体験楽しむ ふれあい活動、双葉小で

県建設業協会釜石支部・青年部会（岩間公人会長）は「建設業ふれあい事業」

「ふれあい事業」を30日、釜石市立双葉小学校校庭で開催。児童、幼児と家族約100人が参加し、木工、重機の操作と試乗の体験試乗を楽しんだ。午後は部員が奉仕

作業。校庭北側の側溝の泥上げ、立ち木のせん定に、知識と技術の腕を振るった。公開する体験メニューは木工と重機だった。木工は手おけ風の製品。持

ち運びできる鋸、室内に置いてラック、小物入れにもできる多機能性があった。年少の子供は家族との合作、自立心が強い高学年児童は自分だけで挑戦した。親切丁寧な青年部会員の指導で、丈夫な製品が完成した。

重機の体験は、バックホー大小2台の操作。数ターに、子供なら大

丈夫。ヘルメットをかぶり、順番待ちのお母さんは、「私が乗ったら、警報が鳴るんじゃないかしら」と不安をのぞかせた。釜石青年部会が同事業で訪問した学校は双葉小で8校目。奉仕作業の内容は、グラウンドやテニスコート、駐車場の整備、樹木のせん定、除草、砂場づくり、遊具の補修と塗装など多岐にわたる。